

Why Herkules Hexagon system?

-なぜ、ハーキュレスヘキサゴン・システムを使うのでしょうか？-

集塵力の検証

集塵システムの有無による飛散する粉塵の量をヘキサゴンシステムとダブルアクションサンダーの組み合わせにて比較しました。

1. 使用機材:集塵機ハーキュレスヘキサコンビ モービル(HEXA-COMB-T2M)

2. パテ量 : 300グラム



パテ 300gX2



各 300g のパテを塗布

3. パテ研磨作業



サンダーは同一の商品を使用し、集塵無しは集塵機を作動させず、サンダーも自吸用の穴をふさぎ作業を行った。また、集塵有りは集塵機・サンダー共に作動させた状態で行った。飛散する粉塵は、サンディング面をビニールシートで被い、シートにたまった粉塵の量を計測した。

結果

左側:集塵なし 右側:集塵あり

結果 A:集塵無し

あまりに粉塵の量が多く
約 70%で研磨を終了

結果 B:集塵有り

まったく粉塵が舞う事もなく
ペーパーの目詰まりもなし。



4. 計測

集塵無し: 250g-40g(風袋) = 210g



集塵有り: 40g-40g(風袋) = 0g



5. 試験結果

集塵無しの場合:

パテ(300g)の約 70% = 210g を研磨した時点で回収された粉塵の量が 210g となり、粉塵はすべて空気中に飛散し作業者が吸引する原因になるだけでなく、床に積もり汚れ、工場的美観も損ねる事になりうる。さらに、昨今では、周辺住民もこのような、工場環境に関して非常に敏感になってりることもあり、こういった機械の無い工場に関しては、即急な対策が必要だと思われる。

集塵有りの場合

パテの約 80%を研磨したが、計測できる量は無く 0g であった。実際にはいろいろな条件もあるので、いつも 100%集塵できるとは限らないが、研磨作業に伴い発生する粉塵のほぼ 100%を集塵回収できると思われる。

環境問題が騒がれている現状におきまして、いち早くこのシステムをとり入れる事は御社の環境に対する姿勢と共に、作業員に対する配慮でもあり、また作業全体の効率化にも大きく貢献できるものと思えます。

株式会社 イスコ